

## 平成30年度台湾便利用に係る修学（教育）旅行事前視察調査助成金交付要領

### （目的）

第1 岩手県内の高等学校、専修学校の教職員等が修学（教育）旅行（以下「旅行」という。）の企画・検討のために実施する現地視察、調査等に要する経費に対し、岩手県空港利用促進協議会（以下「協議会」という。）が、予算の範囲内で助成金を交付することにより、いわて花巻空港発着の台湾便の利用促進を図ることを目的とする。

### （助成対象者）

第2 岩手県内の高等学校及び専修学校とする。

### （助成対象事業）

第3 助成対象者の旅行を担当する教職員等が、台湾への旅行の企画・検討のため、いわて花巻空港発着の台湾便を往復利用して実施する現地視察、調査等とする。

### （助成対象経費）

第4 台湾への渡航費、宿泊費、交流会費、交通費など現地視察、調査等に要する経費で協議会が認めるものとする。但し、他の補助金や助成金の対象となっている経費並びに公費が支出される場合の渡航費等は助成対象外とする。

### （助成額）

第5 助成対象経費の2分の1以内とし、参加者1人あたり50,000円を上限とする。  
なお、1校あたり2名分までを上限とする。

### （助成の申請）

第6 助成を申請しようとする助成対象者は、交付申請書（様式第1号）を協議会会長あて提出するものとする。

### （助成の承認）

第7 協議会会長は、第6に基づく申請があったときは、当該申請に係る書類等の審査を行い、助成することが適当と認められたときは、交付決定通知書（様式第2号）により当該助成対象者に通知するものとする。

### （助成の取りやめ）

第8 協議会会長は、以下に該当する場合は、交付決定後であっても、助成を取りやめる場合がある。

- (1) 旅行主催者の事情による事業の中止
- (2) 天災地変等による事業の中止
- (3) 助成対象者から申し出があった場合

### （助成金の請求）

第9 第7に基づく通知を受けた助成対象者は、事業の実施終了後に、助成金請求書（様式第3号）に必要な書類を添付し、協議会会長あて提出するものとする。

2 協議会会長は、助成金を支払うことが適当と認めたときは、申請者が指定する口座に助成金を振り込むものとする。

(助成金の交付決定の取消し等)

第10 協議会会長は、申請者が不正に助成金の交付を受けたことが判明した場合は、当該助成金の交付決定の全部又は一部を取り消すものとする。この場合、申請者は、当該取り消しに係る助成金に相当する金額を速やかに返還しなければならない。

(立入検査等)

第11 会長は、予算の執行の適正を期するため、助成事業者に対して、必要な報告を求め、又は協議会職員に、その事務所、事業場等に立ち入り、帳簿書類その他の必要な物件を検査させ、若しくは関係者に質問させることができる。

(書類の整備等)

第12 助成事業者は、助成事業に係る補助金の経理を明らかにした書類を整備し、当該助成事業の完了の日の属する年度の翌年度から起算して5年間これを保存しなければならない。

(その他)

第13 この要領の実施に当たり必要な事項は、協議会会長が別に定める。

附 則 この要領は、平成30年8月21日から施行する。

年 月 日

岩手県空港利用促進協議会  
会 長 谷 村 邦 久 様

所 在 地  
団 体 名  
代表者名

印

## 平成30年度台湾便利用に係る修学（教育）旅行事前視察調査助成金交付申請書

次のとおり、台湾便を利用した修学（教育）旅行に係る事前視察・調査を計画しており、岩手県空港利用促進協議会の助成を得たいので、標記助成金交付要領第 6 に基づき、関係書類を添えて申請します。

## 記

## 1 助成対象事業の計画

(1) 事業概要

(2) 行程表（別添のとおり）

(3) 参加予定者の職氏名（参加予定者が 2 名を超える場合、助成対象分の者の職氏名に下線を付けること。）

(4) 助成対象事業の収支予算

収入

(単位：円)

項 目	金 額	内 容
助成金		
自己負担		
合 計		

支出

(単位：円)

項 目	金 額	内 容
渡航費		
現地交通費		
その他		
合 計		

## 2 助成申請額

円

ご担当者：\_\_\_\_\_

電話：\_\_\_\_\_

岩 空 協 第      号  
平 成   年   月   日

様

岩手県空港利用促進協議会  
会 長   谷 村 邦 久

**平成30年度台湾便利用に係る修学旅行事前視察調査助成金交付決定通知書**

平成   年   月   日付けで申請のありました標記助成金につきましては、これを承認することとしましたので、同助成金交付要領第 7 に基づき通知します。

記

助成額                                  円

助成対象経費の 2 分の 1 以内の額とする。

但し、参加者 1 人あたり 50,000 円を上限とし、1 校あたり 2 名分を上限とする。

年 月 日

岩手県空港利用促進協議会  
会 長 谷 村 邦 久 様

所 在 地  
団 体 名  
代表者名

㊞

平成30年度台湾便利用に係る修学旅行事前視察調査助成金請求書

平成 年 月 日付け岩空協第 号で承認を受けた標記助成金について、同助成金交付要領第9に基づき、下記のとおり助成金の支払いを請求します。

記

1 助成金請求額

金 円

2 振込先

- (1) 銀行名等 銀行 本・支店  
(2) 口座番号等 普通・当座 No.  
(3) 口座名義人

【添付資料】

- ① 事前視察調査の内容、実績が確認できる書類（実績報告書、写真、その他関連資料）  
② 最終参加者名簿